

# お徳家

## 東照公御遺訓

人の一生はまがれを忍んで遠き  
道をゆくが如し一いそぐべからず  
不自由を常とおもへば不足なり  
ころよ望むらば固窮なりたる  
時を思ひ出さば堪忍は無事  
長久の基 いかりは敵とみ入  
隙事ばかり知てまくる事より  
おれは害其身にいたる おのれ  
を責めて人をもせむるな 及ばざる  
は過たるよりまがれ



## ねじの教え

②

### 「磨く」と「拭く」の大きな違い

似ているようでまったく深さの違う言葉がありますね。たとえば「磨く」と「拭く」。花瓶を布切れでサッとこすってホコリを取るのは「拭く」、ピカピカに光るまで同じところを何度もこするのが「磨く」ということです。磨くというのは同じところを何度もこすって光らせることをいい、それが「自分の力」になります。たとえば、野球の練習でも同じ動作を何度も何度も反復します。こうして野球の腕が磨かれていくのです。

受験勉強や仕事も同じこと。語学力を身に付けたい、表現力や説得力を高めたいと思うなら、同じことを繰り返し、繰り返し練習することです。頭を磨きたいと思うなら考えに考え抜くこと。それがあなた自身を輝かせる一番の近道だと思います。

ペトロの手紙一3:15

心の中でキリストを主とあがめなさい。

あなたがたの抱いている希望について

説明を要求する人には、いつでも弁明できるように  
備えていなさい。

